

寺報

No.660

令和4年8月

蓮華寺
發行

御聖訓

法華經を書きて供養せしかば、
親、佛に成り。

『光日上人御返事』

日像上人と波ゆりのお題目



(解説)

この文章は、法華經を嫌って亡くなった父親を、その子供が法華經を書写し供養する事で成仏させる事が出来たという中国の実話を元に、日蓮大聖人が弟子に説かれたものです。

我々は、『お盆』に行われます【お施餓鬼】や『法事』の時などに、よく「お塔婆」を建てると思います。

日蓮宗では、このお塔婆の表には「南無妙法蓮華經」のお題目と仏様の戒名を書き、その裏には法華經のお言葉と施主のお名前を書きます。

大聖人がいわれます、法華經を書写し供養する事で亡くなられた方が成仏したのであれば、それに更にお題目が書かれたお塔婆の功德というものは計り知れないものがあるといえます。

この書かれたお題目と法華經から放たれる光りに照らされ、我々の亡くなられたご両親やご先祖様の魂は光り輝いていくのです。

そして、それを供養した我々の命までが輝いていくのです。

つまりお塔婆を建てるという事は、我々が元気であるという証しであり、また我々が仏様に宛てた最高のお供りになるという事です。

お盆の日程

当山では次の日程でお盆行事を執り行っています。

十二日(金)

午前十時半頃

※当山の永代供養塔・水子観音・動物供養塔・日蓮大聖人銅像・浄行菩薩等のご供養

十三日(土)

午前六時～午後三時迄

※三内霊園墓経【他の霊園には参りません】

※位牌堂【住職が、位牌堂で待機しています】

十四日(日)～十六日(火)

※旧市内の棚経 午前八時～一日中

【十三日～十六日迄の間は葬儀や法事、ご祈祷、霊断等はお寺とご相談の上で決めて下さい】

十七日(水)～二十日(土)

※檀家よりご依頼のある新市内の棚経

【ご希望の方は、あらかじめご予約下さい】

二十一日(日)

※『施餓鬼供養会』 昼十二時半より

【お盆の最後の行事です、必ず参拝・お焼香下さい】

●詳細は事務所まで。

☎ 776-5840

お盆の棚経のお願い

例年蓮華寺では、お盆の棚経(各家を回りお経を上げる)を八月の十四日より十六日まで青森の『旧市内』を回り、十七日より二十日までは、皆様からご依頼がありました『新市内』の檀家を回っております。

しかし、お盆は一週間の期間しかありませんので、数多くは回れないのが現状です。特に最近では青森も住宅事情により、各家庭が新市内へと移動して行きました。

その点、十七日以降の棚経のご依頼が多くなってきています。

でも十七日からは、お盆中に去くなりました方々の葬儀等も行なわなければならない状況から、多くの家庭は回れません。

そこで、当山では棚経を八月一日からでも回れるようにしております。

どうか、棚経をご希望の方は、お早目にお申し込みの上、日時を決めて戴くようお願い致します。

なお、それ以外の方は、例年通りの日時にお伺いする

予定です。

また毎年お盆になりますと、檀家さんから「お経が短い」「棚経を忘れられた」とお叱りをよく受けます。

お盆は、限られた期間、限られた人数が、限られた時間に対応しなければなりませんので、お経が短くなります。まず事をご理解戴き、何とぞご容赦願いたいと思いません。

棚経も新人のお坊さんが勘違いをしまして、まれに落とす場合があるかも知れませんが、その時はすぐにお寺にご連絡下されば善処致します。

また皆様も、お正月に求めて戴く『御守護札』を、玄関にしっかりと張っておいて下されば、はずす事はないと思えますので、どうかご協力をよろしくお願い致します。

お盆の追膳

(位牌堂・三階永代供養堂)

*十四日・十五日・十六日の三日間・・・千五百円数に限りがありますので、お早目にお申込み下さい。(受付中)

施餓鬼供養会

八月二十一日(日) 昼十二時半より当山の年に

一度の『施餓鬼供養会』が行われます。

お施餓鬼には、皆様の先祖代々の精霊や新盆に当ります仏様の供養はもちろんですが、特に普段から供養の行き届いていない精霊にも、お塔婆を上げて供養する事が大切です。

例えば、水子の霊・地主の霊・土地に縁する処の精霊・自分に頼る処の精霊・畜生類の霊などです。

特に『畜生類の霊』には、皆様が可愛がっていたペットや、日頃我々の身を養ってくれる牛・豚・鳥などの動物、お魚等の生き物の霊が上げられます。

皆様が、家族同様に愛情を注がれ、時に心をなごましてくれた愛犬や愛猫などのペットの霊、また我々の為に、その生命を犠牲にしてくれた生き物の霊、これ等への感謝も忘れてはいけません。

我々日蓮宗の檀信徒は、仏様の命を受け継ぐ総ての生き物を、法華経・お題目の力によって、救って上げなければいけない使命があります。

日蓮大聖人は「塔婆に手を触れた人、目で見た人、ましてや塔婆を建てた人は、凡夫の心を忘れ仏の心起こします。」
 更に「すでに亡くなられたご両親が、たとえどんな暗闇の世界にいたとしても、太陽や月が闇を明るく照らすように、この塔婆の功德によつて必ず浄土に行きます。」と教えられています。

どうか皆様も、自ら法要に参列し、ともにお題目とお経を唱え、心からお焼香をするようにしましょう。

***塔婆供養・・・一霊千円**



「水子さん」のご供養

新たに当山境内地に安置しています『水子観音様』に風車(かざぐるま)を上げて供養して下さい。
 一体七〇〇円で、葉の部分に名前等の書き入れが出来ますので、ご希望の方は事務所までお申込み下さい。



水着にも必ずお守りを!

せっかくの楽しい夏休みも子供さん、お孫さん達に事故があつては大変です。
 特にお守りを身に着けられない、海やプールは危険で何が起るか分かりません。

ご家族の方が工夫して、お守りを濡れないようにラップなどに包み、水着のポケットに着けて下さい。
 また、水着にポケットがない場合は、水着に簡単な袋などを作ったりして、必ずお守りを着けさせるようにして下さい。

水着用に、お守りを一枚別に用意しておくとお便利だと思います。



②「お守りを持つていっても、子供が中々身に着けてくれない」とよくお話を聞きますが、無理に首に下げさせなくてもよいですから、工夫してポケットや肌着などに着けてもらい、決して身体より離さない事だけのご指導して下さい。

聖徒団会員の募集

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

会員の特典としましては、毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、任職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

更に『定時総会』等のお知らせ、また総会の懇親会の援助に使わせてもらっています。

その他、大本堂御寶前のお花・皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の一部など、会発展の為にさまざまな面で会費を活用させて頂いておりますので、どうかご理解とご協力をよろしくお願い致します。

詳しくは、蓮華寺「玄関」の前に、聖徒団の『令和三年度の収支決算書』『令和四年度の収支予算書』を用意してありますのでお持ち下さい。

なお、三年以上会費を滞納しました会員は、自動的に退会となりますのでご了承下さい。

今後、蓮華寺聖徒団は新会員をどしどし募集しておりますので、出来れば毎月ついたちの日に事務所にお申し込み下さい。

(注)来年こそは『聖徒団総会』は開催したいです!

青森蓮華寺聖徒団役員

団長 角田 堯淳

- | | | | |
|------|-------|------|-------|
| 総務部長 | 齊藤 豊 | 会計部長 | 白取つじ子 |
| 布教部長 | 杉淵 昌三 | 会 計 | 川越美由紀 |
| 庶務部長 | 関 義蔵 | 書 記 | 角田喜代美 |
| 婦人部長 | 三浦ナツコ | 監 事 | 小野 豊秀 |

☆靈 断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。
 日蓮宗に伝わる秘法『靈断』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

【相談料は原則、一件三千元となります】
 (注)時間の関係上、御予約下さい。 ☎776-5840

『提灯』の募集!

当山で「鬼子母神大祭」「御会式」「お正月」の際に掲揚します『提灯』(トロー)を募集致します。
 作成価格は八千円で、年間の管理費が二千元となりますので、初年度のみ一万円となります。

御首題帳（御朱印帳）

当山では、現在季節に応じた「御首題」を毎月ご用意していますので、どうぞ利用になつて下さい。

日蓮大聖人の御命日

毎月十三日の午後一時に執り行われてます「日蓮大聖人」のご命日法要は、八月は『お盆』の関係で十日（水）の午後一時より行いますので日にちをお間違いないように参拝して下さい。

エレベーターの工事終了

先月部品の交換をしていました、当山のエレベーター工事は無事終了し、より安全に順調に起動するようになりました。

小本堂の空調整備終了

昨年からの大雪で、室外機が破損して使用出来ませんでした『小本堂』の冷暖房は、新たに室内機も交換し無事に使用出来るようになりました。以上、報告致します。

『位牌壇』の募集！

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも大丈夫です。

◎現在空いています上位の位牌壇に上がりたい方には数がある限り無料でお譲り致します。

ですから、三席から特席にも上がる事も可能です。詳細は事務所まで！

八月の行事

一日（月）盛運祈願会 午後一時より

- ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- ・ お勤めに参拝し、お題目とお経を唱えましょう。
- ・ 聖典（お経本）と数珠は必ずご持参下さい。
- ・ 蓮華寺檀信徒の方は必ずお守りを持ちましょう。



十日（水）日蓮大聖人のご回向 午後一時より

- ・ お経 如来神力品第二十一（訓読・日本語読み）
 - ・ 如来寿量品第十六（真読・漢字読み）
 - ・ お勤めに参拝し、お題目とお経を唱えましょう。
- ②八月はお盆の為、十日の日にご回向しますので、お間違いないようにご参拝下さい。

十三日（土）～二十日（土）『お盆』 2頁参照

二十一日（日）『施餓鬼供養会』 昼十二時半より

☆奉仕のお知らせ

お盆の追膳

- 十四日（日）
 - 十五日（月）
 - 十六日（火）
- ②『お盆の追膳』のお手伝いは、朝【午前六時～七時半】夕【午後三時～五時】です。お手伝い出来ます方はどなた様でも結構です。で、時間迄にお集まり下さい。

十八日（木）施餓鬼供養会の準備

・ 男女共・午前十時半より

二十一日（日）施餓鬼供養会のお手伝いと後片付け

・ 男女共・午前十時より

*お施餓鬼は、先祖供養の為の精霊棚や流し供養の船の準備、また塔婆供養の仕度などがあります。

ご先祖の為に、ご奉仕をよろしくお願い致します！
教宣部長・杉淵昌三 奉仕部長・山田兼補

★今月は『檀信徒研修会』はお休みとなります。

施 餓 鬼 供 養 会

八月二十一日 (日)

昼十二時半より



(追善塔婆供養)

- * お塔婆のお申し込みは各霊一霊につき千円です。
- * 新盆の仏様は必ずご供養してあげましょう。
- * 当日はお忙しくとも、法要に参列し、お焼香し一緒にお経・お題目を唱えるようにしましょう。
- * お経は
 - ◎如来寿量品第十六・真読 (漢字読み)
 - ◎提婆達多品第十二・訓読 (日本語読み)中ごろ「大智徳勇健にして～」を読みます
- * お供物も受け付けています。